

SURF CAMP

BEACH STYLE & LAKE STYLE
WEEKEND OUTDOOR TRIP



軟弱なつもりはないが、寒い季節より暖かい方が、キャンプはもちろん
過ごしやすい。アクセルを踏み込む足も、冬より夏の方が、断然力も入
る。いつもの週末より少しドライブの距離を伸ばして海辺や、あるいは
湖畔へ繰り出す。アウトドアギアを満載したクルマで駆け出しウィーク
エンドを満喫すれば、たった2日の旅でも豊潤な休暇となるだろう。

シーンコーディネート&文/
写真/羽田貴之

SCENE **1** **BEACH STYLE**
TOYOTA TACOMA & TOYOTA TUNDRA

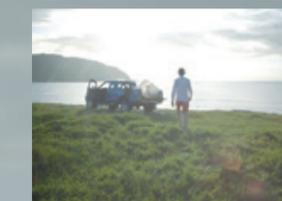
special thanks : Flexdream(<https://www.flexdream.jp>)

ビーチキャンプなら風を感じてワイルドに!



SURF CAMP
 BEACH STYLE & LAKE STYLE
 WEEKEND OUTDOOR TRIP

奥から、TACOMAのピックアップスペースに張った米国ブランド日本仕様のテント:ビッグアグネス フライクレーク2 UL EX 5万3000円(ケンコー社 Phone:06-6374-2788)/夏の海辺ならば蚊は風に流されていくので、テントを張らずタープだけで夜を過ごすのも悪くない。キャブテンスタッグ UA-1064 エクスギア ヘキサタープ440UV 2万5000円/トラディショナルなGIコットスタイルだが、面ファスナーの採用で組み立てが簡単。キャブテンスタッグ UB-2001 エクスギア アルミGIキャンピングベッド 1万5000円/軽量なのに二人掛けでき、肘掛がウッドでナチュラルテイスト。キャブテンスタッグ UC-1533 エクスギア アルミ背付ベンチ 1万1000円/海から上がった後、リラックスするのにちょうど良いクッション付きハンモックスタイルのチェア。キャブテンスタッグ UD-2004 パームクッションチェアモック 5800円、キャブテンスタッグ UD-2001 スチールチェアモック用スタンド 1万3000円/背もたれがリクライニングするのでリラックス度満点。キャブテンスタッグ UC-1502 エクスギア ロースタイル リクライニングチェア 7500円/本来は大型クーラーボックスを乗せるためのスタンドとして販売されているが、ゆえに耐荷重が高く、2段階の高さ調節が可能なので、ビーチでのサーフボード置きにも最適。キャブテンスタッグ UA-51 アルミクーラースタンド 6800円(すべてパール金属 Phone:0256-35-3117)/モデルが着用したサーフランクスは米国西海岸で圧倒的人気のブランド。ハーレーウオークショーツ 8800円/サーフボードの上に置いたサーフランクスはウエストのヒモでプラスマイナス3センチくらいの調節が可能。ハーレーボードショーツ 8200円(ともにハーレー Phone:03-5412-1781)※価格はすべて税別



波をチェックしながら海辺を走り、たどり着いたのは心地よさげな緑の草に覆われた美しいビーチ。

TACOMAの荷台にテントを張る。ぴったりサイズのテントと出会えると、それだけで幸せを感じる。



ゴールデンウィークも終わり、しばらくは大型連休もない。だからと言って、まったく出かけないというわけではないだろう。クルマがあれば、ことさら外へ飛び出したいくなる。

Cal的にアメリカ西海岸に目を向ければ、もっとも人気のある車両といったら、まずはピックアップトラックが挙げられる。中でも注目されているのはTUNDRA（タンドラ）とTACOMA（タコマ）だ。トヨタ車ということもあり、壊れにくいという安心感もまた評判を高めている理由のひとつだ。タンドラのネーミング語源は、北極海沿岸の地域、永久凍土の大地であるツンドラに由来する。荒野をイメージできるネーミングはフルサイズピックアップのタンドラにふさわしい。一方、タコマは西海岸最北の州であるワシントン州で古くから栄えた港湾都市の名前だ。港町にもっとも似合うクルマ、それがタコマということなのだろう。

そんな2台がここにある。ピックアップ

トラックがあれば、荷台がいっぱいになるほど、ショッピングモールで買い物をするのもアメリカ的である。だが、荷台があるからこそ、ラフでタフに使いたくなる。荷台は男の宝箱でもある。アウトドアギアを詰め込み、ビーチサイドへキャンプに出かけるというもまた、西海岸的な遊び方だ。

タンドラ、タコマとも逆輸入車の北米トヨタ車だ。このタンドラは、2014年モデル。新車で購入しちょうど一年を経過した車だ。タコマは、2008年モデル。カリフォルニアで日本人オーナーが実際に乗っていたこの車を日本に持ち帰り国内で乗っていたクルマ。エンジンはV6の4000ccで、ブラドやFJクルーザーにも搭載されているモデル。ラダーフレームに載った重たい車両もパワーでグイグイと風景を飛ばして行く。ワイルドな外観から4WDを連想しがちだが、当車両は二輪駆動。オフロードを走る予定はないのだから、四輪駆動は必要ない。無駄なものは必要ないとす

る割り切り方もアメリカ的な発想だ。事実として、このビーチキャンプで平坦な砂浜程度の未舗装路を走るくらいならば、二駆で十分だった。

夜明け前に家を出発し、海辺には明け方に到着する。良質な波が打ち寄せるビーチを見つけたとそこが今夜のキャンプ地だ。まずは海で遊び、それからキャンプサイトを築き上げればいい。陽の高いうちに設置しなければならぬのは、熱射病対策に必要とする日陰作り。つまりはタープの設営だ。ビーチキャンプでは地面が砂となるので、突風が吹いたときにベグが抜けないよう、ちょっとしたテクニックも必要となる。また昼からテントを張っていると室内に熱がこもって、寝苦しい夜を迎えることになるかもしれないから避けるべきだ。暑い空気は上に溜まる。もしテントを張るなら、上部のジッパーを少しだけ開け、その熱を解放する。テントを張る場所はピックアップトラックの荷台というも悪くない趣向だ。あるいは

風の通るビーチだからこそ、蚊も吹き飛ばされていくので、いっそのことテントなしで、夜露が降りてくるのだけ避けるようにタープの下で寝るというのもワイルドでいい。

頑丈なラダーフレームで構成された2台のクルマ、タンドラとタコマがある。波乗りには飽きたら、ラダーフレームにスラックラインを咬まし、綱渡りに興じる。波乗り以上にバランス感覚が問われる遊びだ。しかし地面が砂浜ならば、転落しても大怪我となることもないだろう。心地よい緊張に包まれながら、心が解放されていく。

ピックアップトラックがあったなら、どこへ出かけようか。そしてどんな遊びをしようか。日常的には、どんな生活が待っているだろうか。いろんな思いが頭の中を駆け巡る。

間違いなく、アメリカ西海岸の日常がそこに

ある気がしてならない。



タコマのアクセスキャブはご覧の通り、ドアが観音開きとなる。小さなスペースを有効的に活用している。



タンドラ最上級グレードの※1794エディションモデル。大きな4枚のドアを開けると広々とした室内。高級車ならではのゴージャスなインテリアだ。本革シートが標準で備わり、シート自体にクーラーも備わっている。

※1794エディションとは、タンドラの生産工場があるテキサス州サンアントニオ市のWalsh Ranch (ウォルシュ) 牧場ができたのが、今から200年以上前の1794年だったことにちなんだものであり、古くからピックアップを愛する牧場のユーザーに強くアピールするモデルとなっている。



タコマ、タンドラ、セコリア、シエナ、FJクルーザーなどUSTヨタ専門の新車・中古車販売店。並行輸入車と聞くと不安に思う方、フレックス・ドリームでは、安心して乗れるよう並行輸入車は全車CARFAXおよびオートチェックにてアメリカ国内での走行履歴を確認している。

ランクル、ハイエース、USTヨタ専門店

「フレックス・ドリーム」

<https://www.flexdream.jp/>

【フレックス・ドリームで検索】

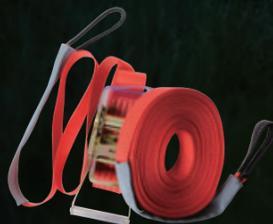
USTヨタ専門店：アップルさいたま岩槻店
(フレックス・ドリームグループ)

住所：埼玉県さいたま市岩槻区府内2-1-7

電話：048-797-2700

時間：10:00?19:00 (水曜定休)

ピックアップの日常使いこそ カリフォルニア的日常



通常、ベルトの両端を大木にくくりつけ綱渡りのようにベルトの上を歩いて遊ぶスラックライン。この日はラダーフレームに固定した。

